

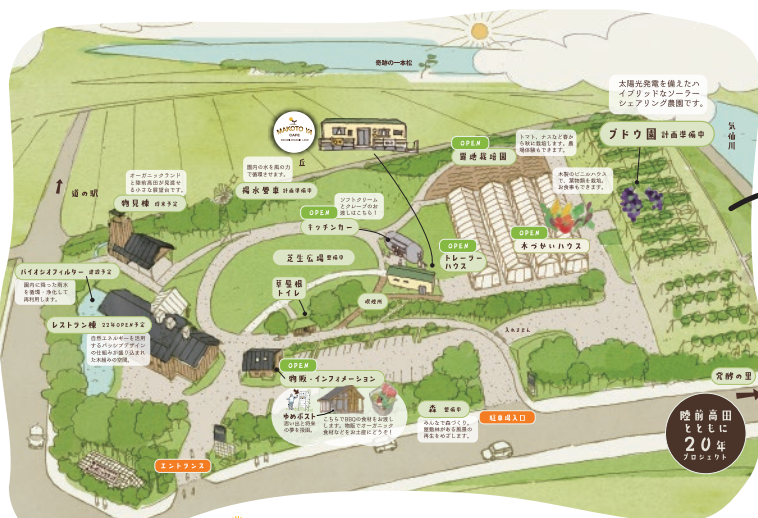
ご利用の電気料金の 1% を 再生可能エネルギーに投資

ワタミエナジーは、風力発電や太陽光発電を増やす電力事業に取り組んできました。今よりもっと気候変動の抑制に貢献し、循環型社会を目指していくためには、現状の取り組みでは不十分であるとの思いから、売上の1%を再生可能エネルギーの開発に投資する仕組みをつくりました。電力を「ワタミのでんき」に切替えることは、再生可能エネルギーの割合を増やすことにつながります。お客様とともに、着実に再エネによる発電量を増やすことで、地球が直面している気候変動の問題の解決に取り組んでいきます。

※小売電気事業における売上の1%を、翌年度、再生可能エネルギー発電施設に投資 2020年度の売上から適用

**2021年度
投資先決定**

岩手県陸前高田市の復興大地に オーガニックワイン畑とソーラーシェアリングを つくるプロジェクト



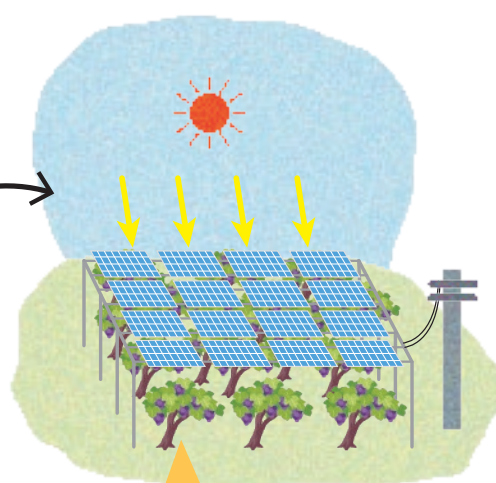
陸前高田 watami
オーガニックランド

ソーラーシェアリングとは

農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取り組みです。作物の販売収入に加え、売電による継続的な収入や発電した電力の自家利用等による農業経営の更なる改善が期待できます。



資料提供：千葉エコ・エネルギー(株)



電気料金の1%が
ワタミエナジーを通して
再生可能エネルギーに投資される

2020年度 小売電気事業の売上高
18億 6,100万円

2021年度 再エネ投資額
1,861万円



ワタミのでんき

お客様の電気料金の1%は
再生可能エネルギーに投資され
SDGsの目標達成に貢献しています。



RE100 の達成に向けて

ワタミは RE100 宣言企業です

ワタミグループは、事業活動で消費する電力を 100% 再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する「RE100 (アールイー 100)」に日本の外食企業では初めて加盟しました。今後は、2040 年までに事業活動で消費する電力を 100% 再生可能エネルギーにする目標を掲げています。

RE100

ワタミは国内外食初
RE100加盟企業です

SDGs の達成に向けて

ワタミグループは、SDGs (国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 年までの目標」) の目標達成に向けて積極的に取り組むとともに、すべての企業活動の分野で持続可能な行動を推進していきます。グループとして、成長戦略の実現が SDGs の目標達成に貢献できるように、従業員だけでなく、すべてのステークホルダーと協力してまいります。

今回の取り組みでは、SDGs の目標 7、13 の達成に貢献しています。

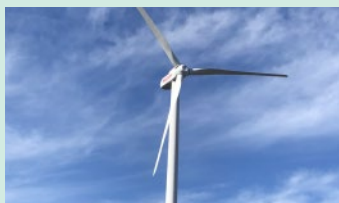
7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



ワタミエナジーの再生可能エネルギーの取り組み



1. 風力発電

風車所在地：秋田県にかほ市“風民”・
秋田市・由利本荘市、全 3 機
設備容量=1 機につき約 2,000kW



2. 太陽光発電

ルーフソーラー所在地：相模原・
日高・東松山・丹波・岩国・関西の
全 6 機。合計設備容量=897.2kW



3. バイオマス発電

バイオマス発電施設所在地：
大分県臼杵市
設備容量=45kW